

令和7年度
赤谷林道災害復旧工事（R7補正）

図面枚数	表紙共19枚
------	--------

分類	森林基幹道	規格	第2種自動車道 2級	
位置	群馬県利根郡みなかみ町相俣字大源田外2 国有林239ほ3 林 小班外			
延長	29.5m	国有林内	29.5m	
幅員	3.6m	国有林外	—m	
勾配	最急	平均	最小半径	—m
	—%	—%	設計荷重	— t

利根沼田森林管理署

位置図

縮尺 S=1:20,000

路線名 : 赤谷林道

所在地 : 群馬県利根郡みなかみ町相俣字
大源田外2国有林239ろ林小班外

S=1:20,000

工事箇所
ゲートより4.6km

林業作業用施設
B.P-316.5

工事名	赤谷林道災害復旧工事(R7補正)		
図面名	位置図(1)		
作成年月日			
縮尺	S=1:20,000(A3)	図面番号	1 / 8
会社名			
事務所名	関東森林管理局 利根沼田森林管理署		

位置図

縮尺 S=1:5,000

路線名 : 赤谷林道

所在地 : 群馬県利根郡みなかみ町相俣字

大源田外2国有林239ろ林小班外



S=1:5,000



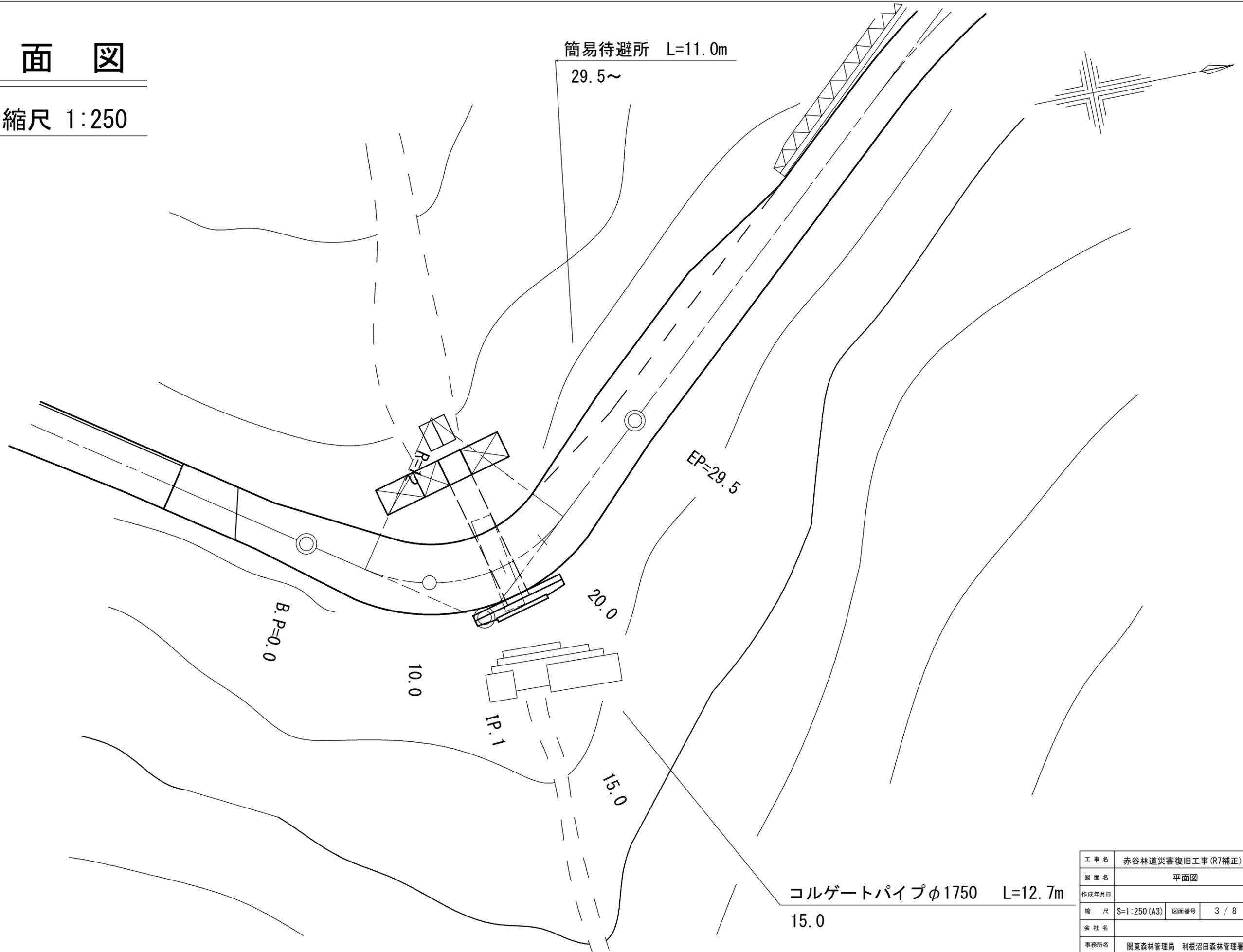
工事箇所

ゲートより4.6 km

工事名	赤谷林道災害復旧工事(R7補正)		
図面名	位置図(2)		
作成年月日			
縮尺	S=1:5,000(A3)	図面番号	2 / 8
会社名			
事務所名	関東森林管理局 利根沼田森林管理署		

平面図

縮尺 1:250

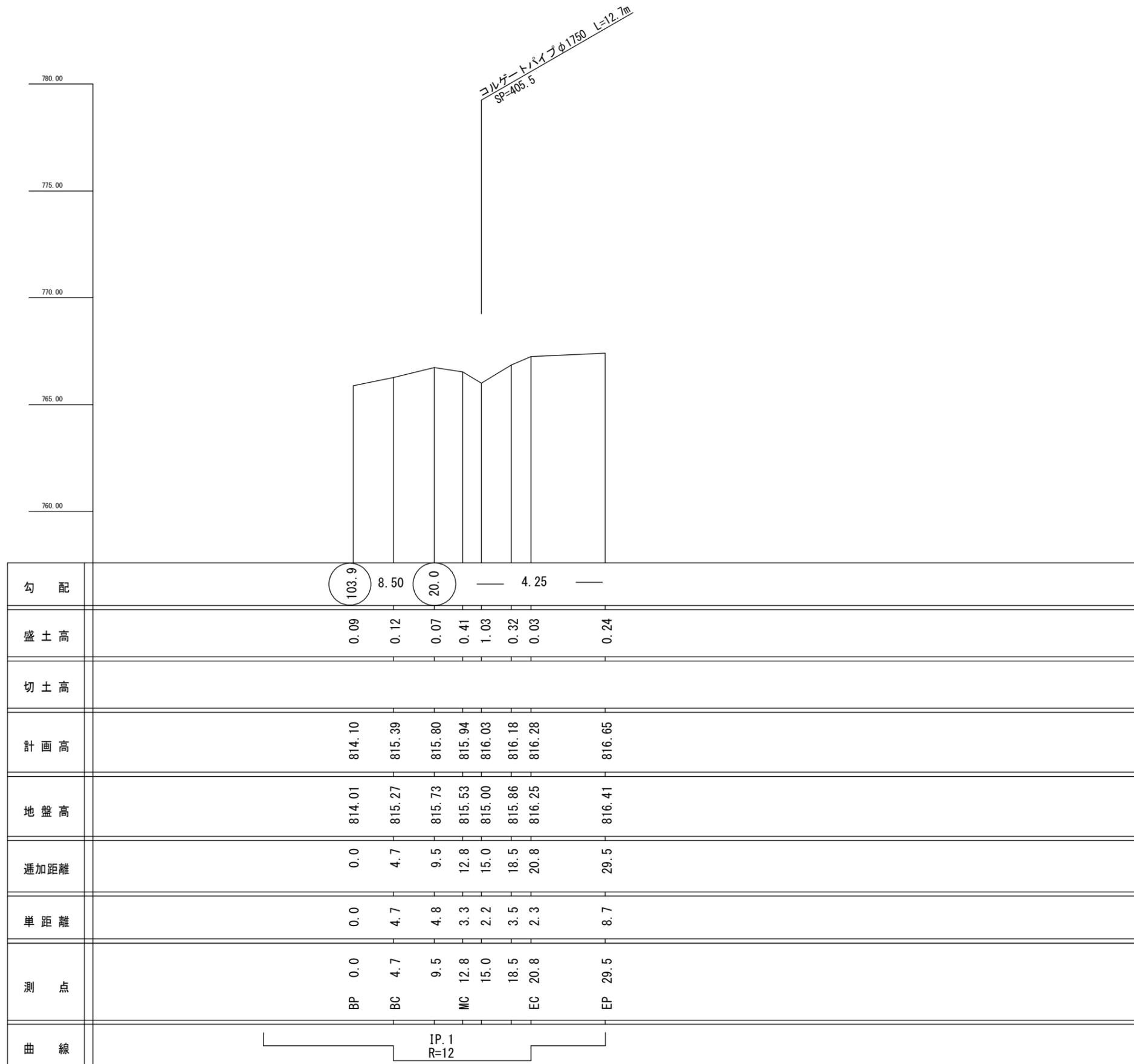


コルゲートパイプφ1750 L=12.7m
15.0

工事名	赤谷林道災害復旧工事(R7補正)		
図面名	平面図		
作成年月日			
縮尺	S=1:250(A3)	図面番号	3 / 8
会社名			
事務所名	関東森林管理局 利根沼田森林管理署		

縦断面図

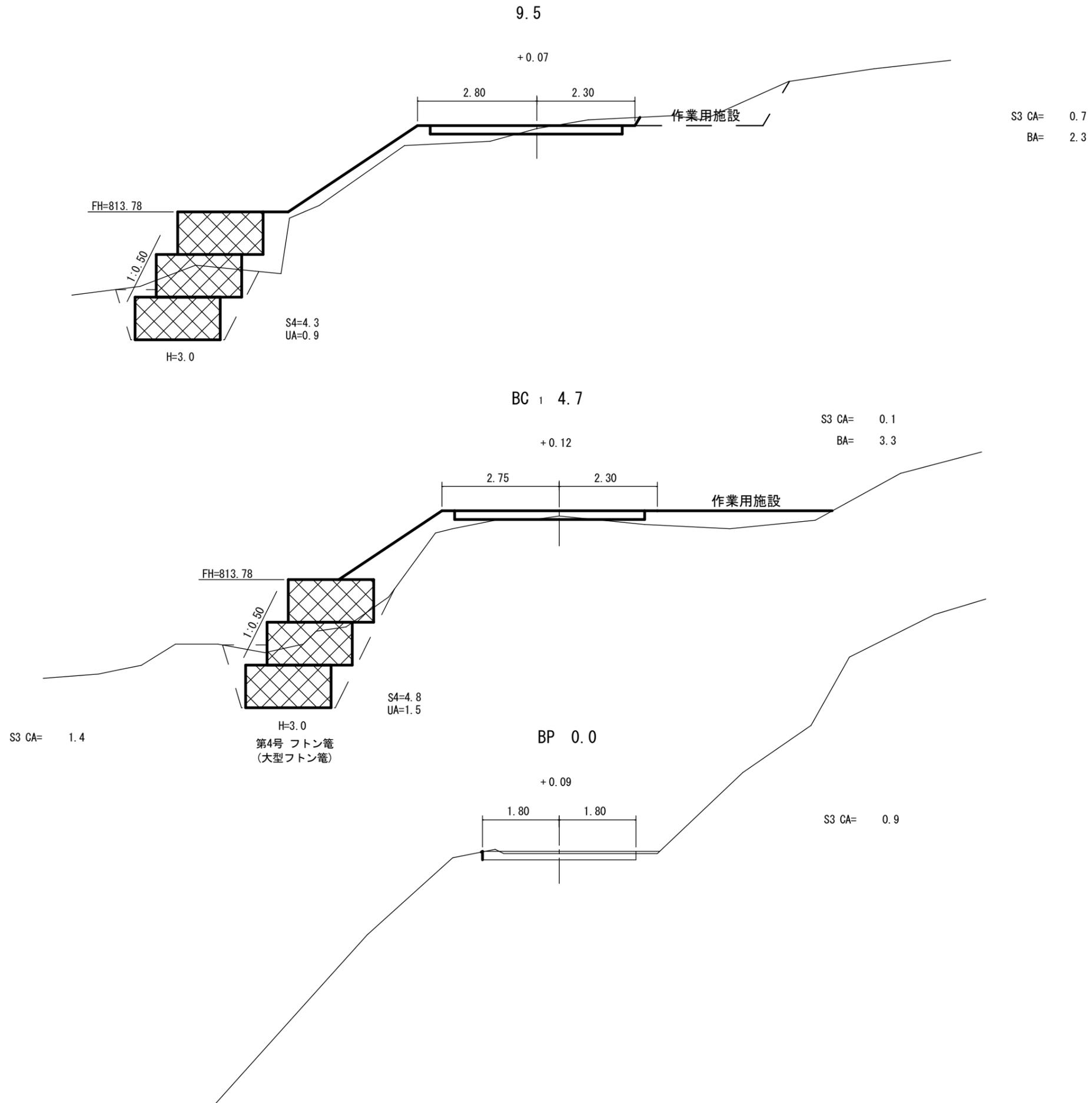
縮尺 縦 1: 200
横 1: 500



工事名	赤谷林道災害復旧工事 (R7補正)		
図面名	縦断面図		
作成年月日			
縮尺	V=1: 200 H=1: 500 (A3)	図面番号	4 / 8
会社名			
事務所名	関東森林管理局 利根沼田森林管理署		

横断面図

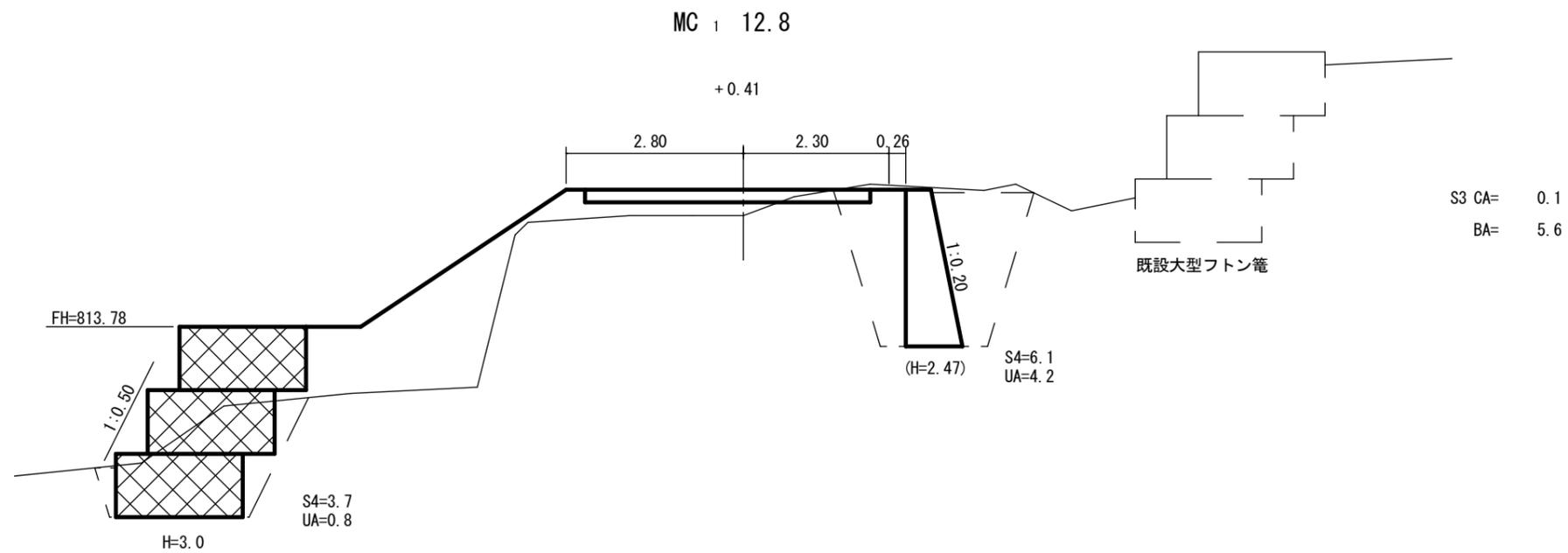
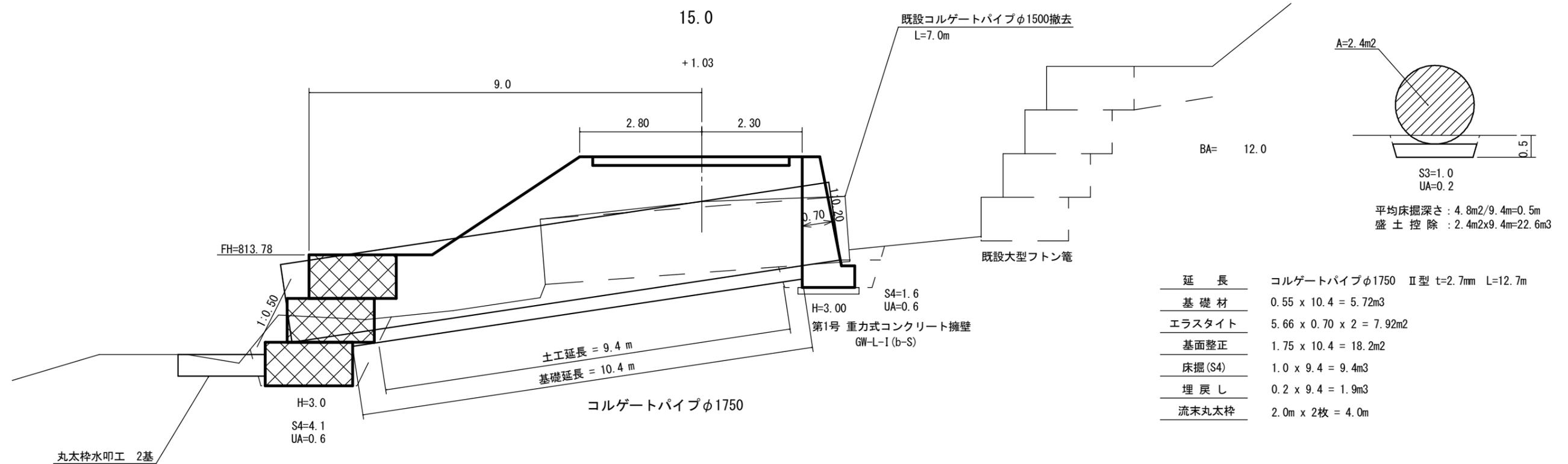
縮尺 1:100



工事名	赤谷林道災害復旧工事 (R7補正)		
図面名	横断面図 (1)		
作成年月日			
縮尺	S=1:100 (A3)	図面番号	5 / 8
会社名			
事務所名	関東森林管理局 利根沼田森林管理署		

横断面図

縮尺 1:100



工事名	赤谷林道災害復旧工事 (R7補正)		
図面名	横断面図 (2)		
作成年月日			
縮尺	S=1:100 (A3)	図面番号	6 / 8
会社名			
事務所名	関東森林管理局 利根沼田森林管理署		

横断面図

縮尺 1:100

EC 1 20.8

+0.03

2.80

2.30

S3 CA= 0.8
BA= 2.9

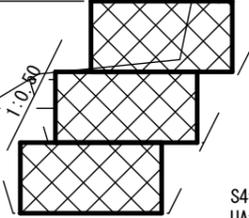
EP 29.5

+0.24

簡易待避所
3.30

BA= 0.3

FH=813.78



端断面
S4=4.0
UA=1.1

S4=7.2
UA=2.0

H=3.0

18.5

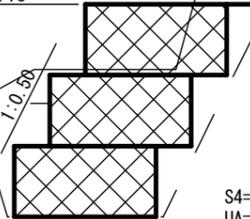
+0.32

2.80

2.30

BA= 8.1

FH=813.78



S4=7.3
UA=1.9

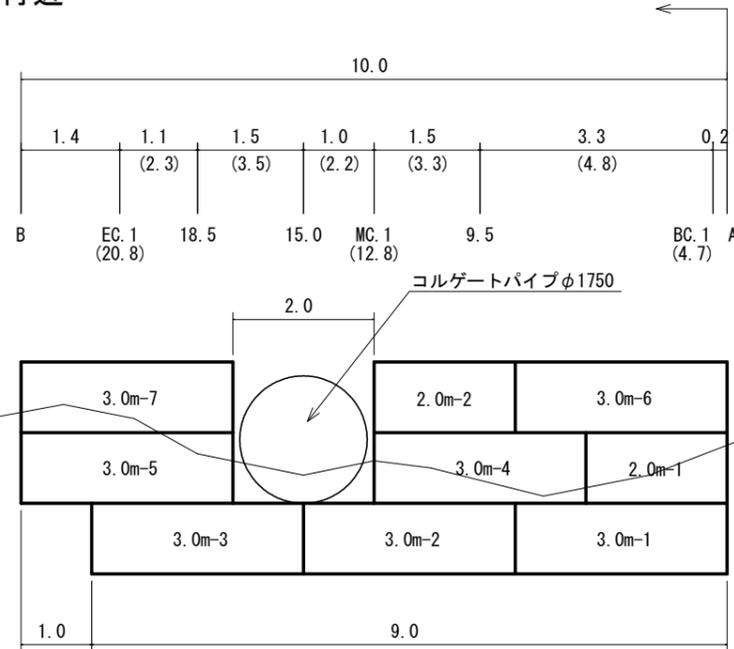
H=3.0

工事名	赤谷林道災害復旧工事(R7補正)		
図面名	横断面図(3)		
作成年月日			
縮尺	S=1:100(A3)	図面番号	7 / 8
会社名			
事務所名	関東森林管理局 利根沼田森林管理署		

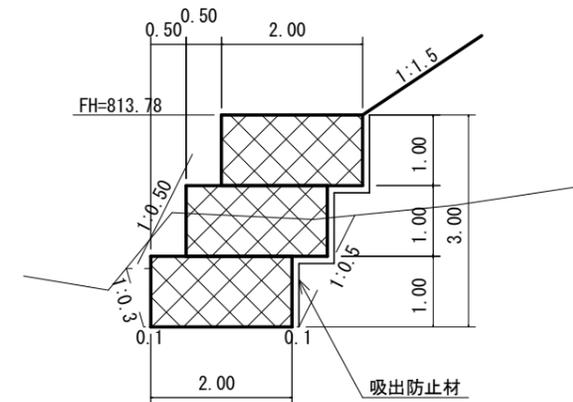
第1号 フトン籠工 (大型フトン籠)

SP=BC. 1 (4. 7) ~ EC. 1 (20. 8) 付近

縮尺 1:100



断面図



大型フトン籠

2.0x1.0x3.0 = 21.0m(7枚)
2.0x1.0x2.0 = 4.0m(2枚)
計 = 25.0m(50.0m³)

中詰石

50.0m³x0.95 = 47.5m³

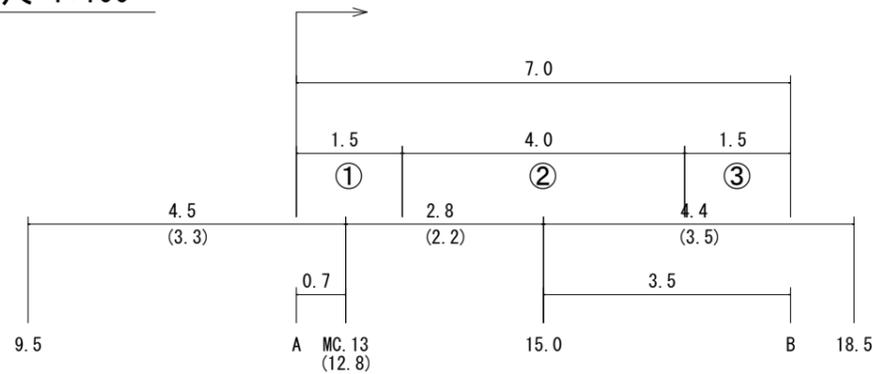
吸出防止材

背面 25.0m x 1.0 = 25.0m²
小段下面 8.0 x 0.5 + 7.0 x 0.5 = 7.5m²
端部 2.0 x 1.0 x 6 = 12.0m²
計 = 44.5m²

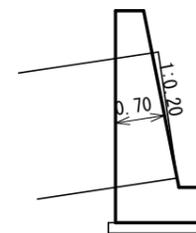
第1号 重力式コンクリート擁壁 GW-L-I (b-S)

SP=15.0 呑口部

縮尺 1:100



H	B	b	h	a	HL	コンクリート	型枠	敷レキ
2.00	0.800	-	-	0.40	2.04	1.200	4.04	-
2.50	0.900	-	-	0.40	2.55	1.625	5.05	-
3.00	1.000	-	-	0.40	3.06	2.100	6.06	-
3.00	1.200	0.30	0.50	0.40	2.55	2.225	6.05	0.21

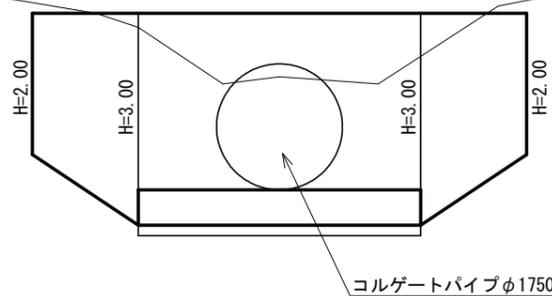
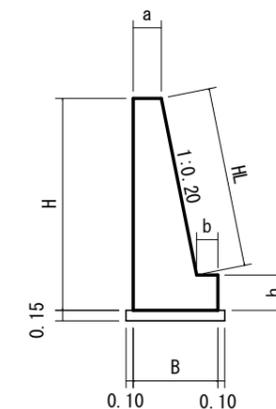


コルゲートパイプφ1750

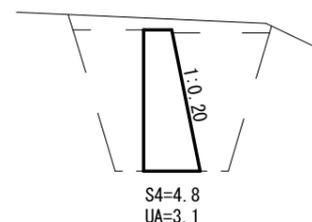
A=2.67m²

コンクリート控除 = 2.67x0.70=1.87m³

型枠控除 = 2.67x(1.020+1.000)=5.39m²



端断面(A, B)



工事名	赤谷林道災害復旧工事 (R7補正)		
図面名	展開図		
作成年月日			
縮尺	S=1:100 (A3)	図面番号	8 / 8
会社名			
事務所名	関東森林管理局 利根沼田森林管理署		

参考図

縮尺 S=1:20,000

路線名 : 赤谷林道

所在地 : 群馬県利根郡みなかみ町相俣字
大源田外2国有林239ろ林小班外

S=1:20,000



239コンクリート路面工

延長124.5m 平均幅4.2m



上信越高原国立公園

(大名向) 十二社ノ峰

228

227

226

224

225

241

240

243

232

230

231

234

223

239

238

237

236

235

234

233

232

231

230

229

228

227

226

225

224

223

222

221

220

219

218

217

216

215

214

213

212

211

210

209

208

207

206

205

204

203

202

201

200

199

198

197

196

195

194

193

192

191

190

189

188

187

186

185

184

183

182

181

180

179

178

177

176

175

174

173

172

171

170

169

168

167

166

165

164

163

162

161

160

159

158

157

156

155

154

153

152

151

150

149

148

147

146

145

144

143

142

141

140

139

138

137

136

135

134

133

132

131

130

129

128

127

126

125

124

123

122

121

120

119

118

117

116

115

114

113

112

111

110

109

108

107

106

105

104

103

102

101

100

99

98

97

96

95

94

93

92

91

90

89

88

87

86

85

84

83

82

81

80

79

78

77

76

75

74

73

72

71

70

69

68

67

66

65

64

63

62

61

60

59

58

57

56

55

54

53

52

51

50

49

48

47

46

45

44

43

42

41

40

39

38

37

36

35

34

33

32

31

30

29

28

27

26

25

24

23

22

21

20

19

18

17

16

15

14

13

12

11

10

9

8

7

6

5

4

3

2

1

0

-1

-2

-3

-4

-5

-6

-7

-8

-9

-10

-11

-12

-13

-14

-15

-16

-17

-18

-19

-20

-21

-22

-23

-24

-25

-26

-27

-28

-29

-30

-31

-32

-33

-34

-35

-36

-37

-38

-39

-40

-41

-42

-43

-44

-45

-46

-47

-48

-49

-50

-51

-52

-53

-54

-55

-56

-57

-58

-59

-60

-61

-62

-63

-64

-65

-66

-67

-68

-69

-70

-71

-72

-73

-74

-75

-76

-77

-78

-79

-80

-81

-82

-83

-84

-85

-86

-87

-88

-89

-90

-91

-92

-93

-94

-95

-96

-97

-98

-99

-100

-101

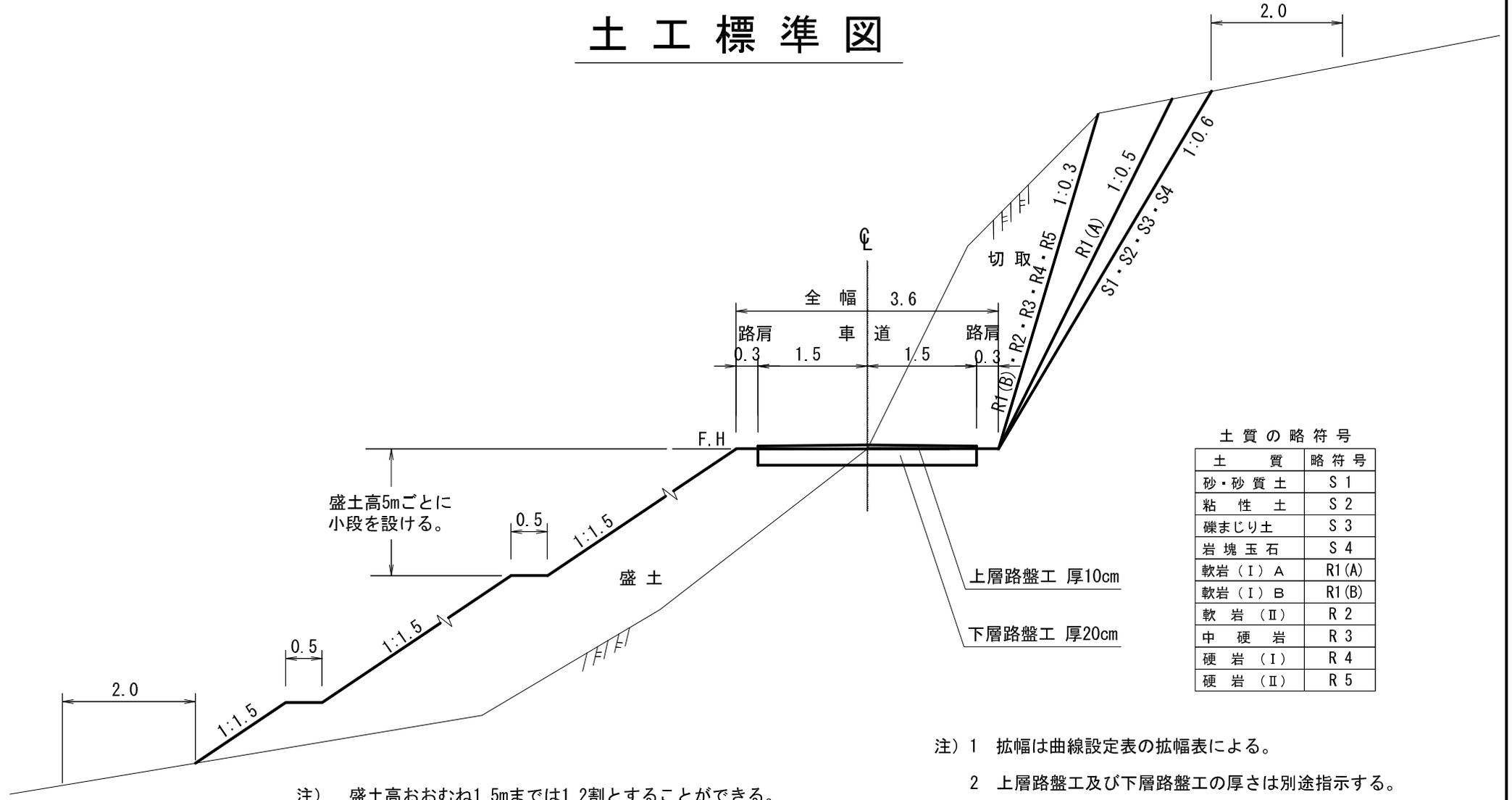
-102

-103

-104

-105

土工標準図



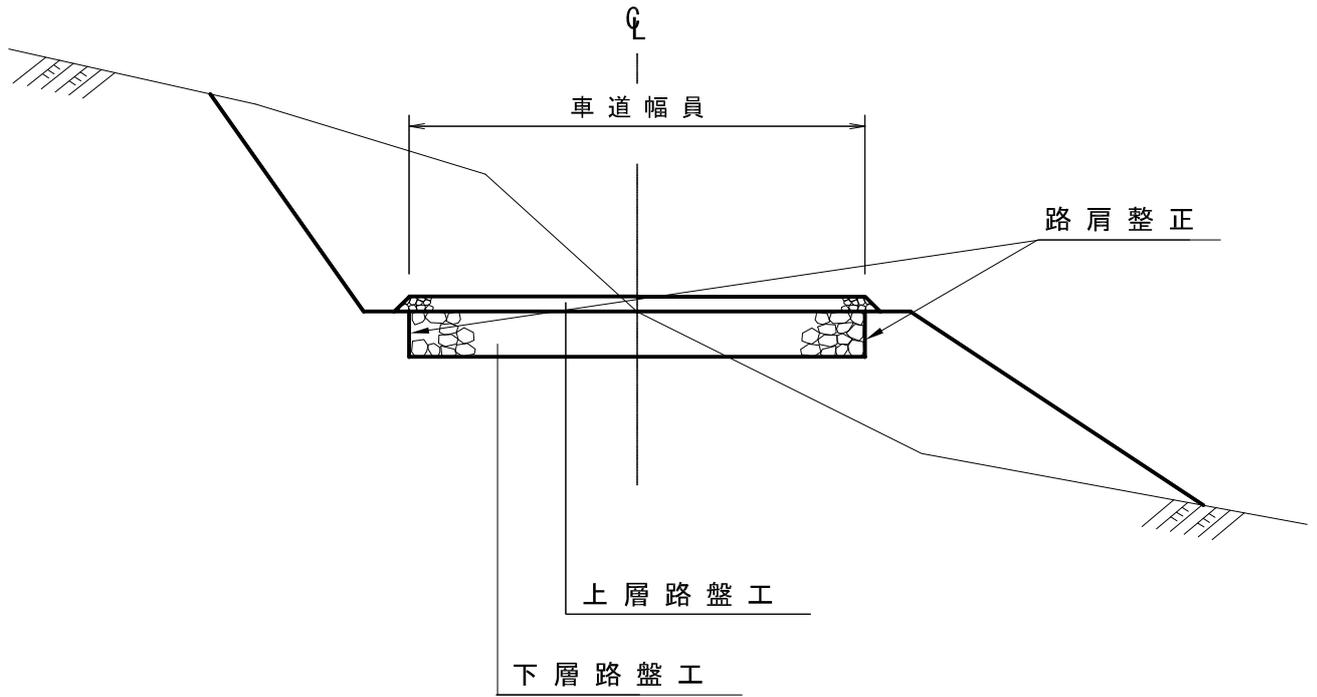
土質の略符号

土質	略符号
砂・砂質土	S 1
粘性土	S 2
礫まじり土	S 3
岩塊玉石	S 4
軟岩 (I) A	R1 (A)
軟岩 (I) B	R1 (B)
軟岩 (II)	R 2
中硬岩	R 3
硬岩 (I)	R 4
硬岩 (II)	R 5

- 注) 1 拡幅は曲線設定表の拡幅表による。
 2 上層路盤工及び下層路盤工の厚さは別途指示する。

路肩整正

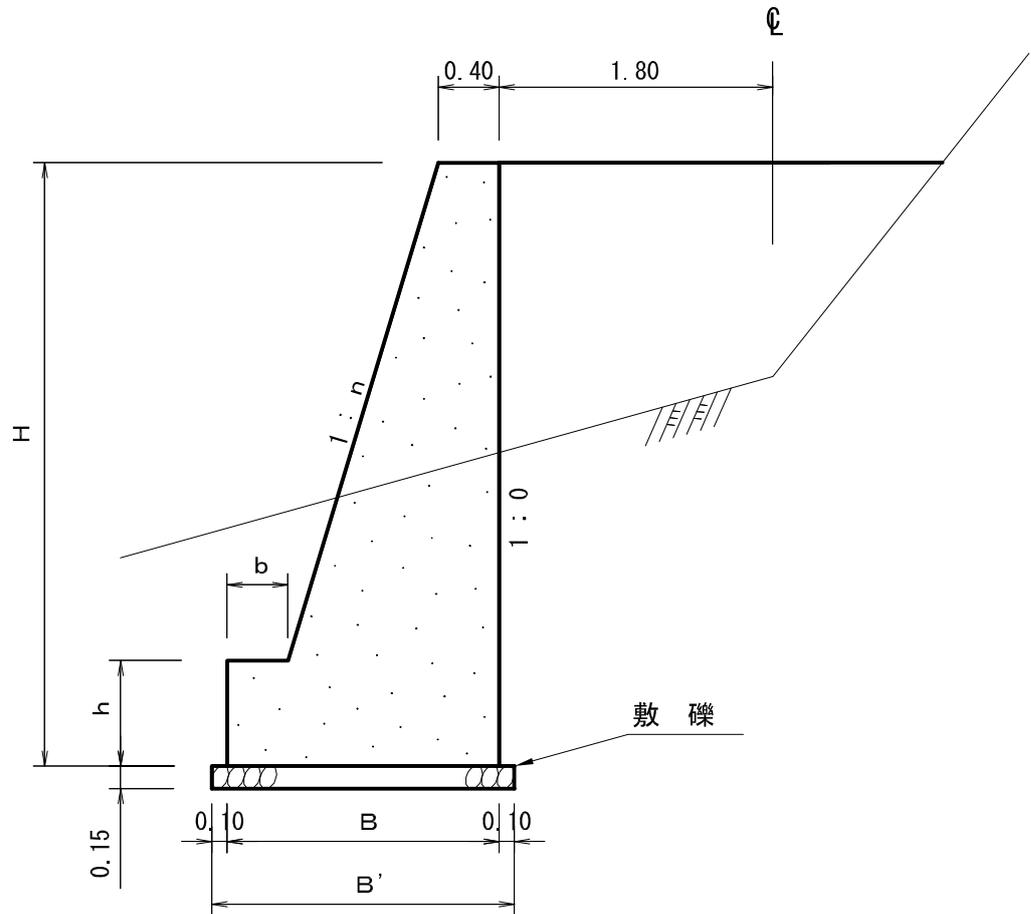
S=1:50



重力式コンクリート擁壁工

S=1:free

GW-L-I



寸法表

設計区分 (b-S)

設計区分 (b-R)

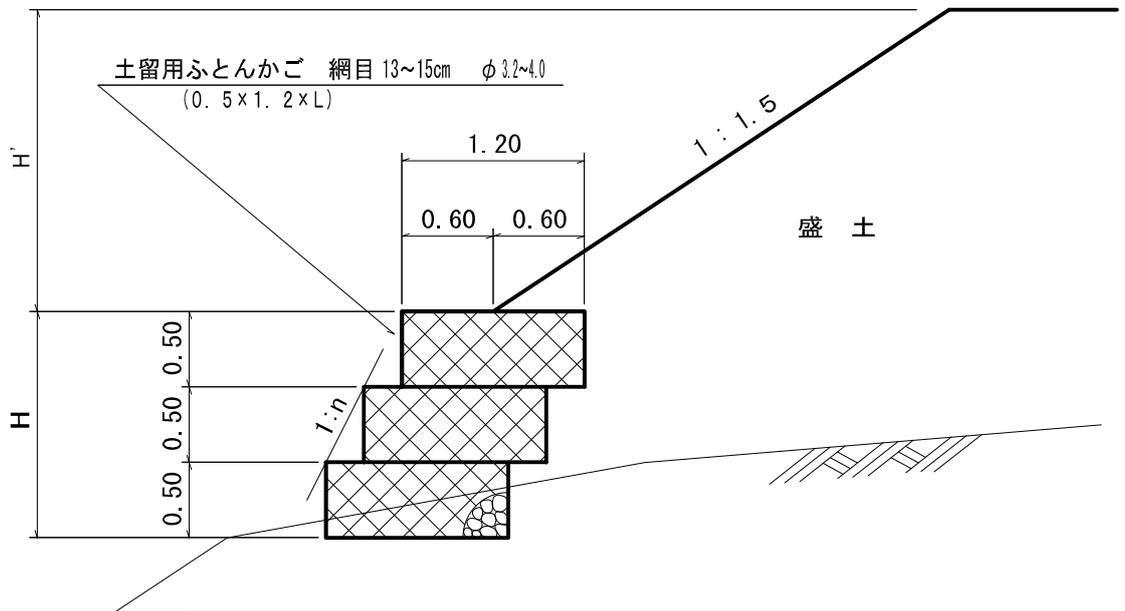
H	n	B	b	h	B'	H	n	B	b	h
2.000	0.150	0.940	0.300	0.400	1.140	2.000	0.150	0.940	0.300	0.400
2.500	0.200	1.100	0.300	0.500	1.300	2.500	0.150	1.000	0.300	0.500
3.000	0.200	1.200	0.300	0.500	1.400	3.000	0.200	1.200	0.300	0.500
3.500	0.200	1.380	0.400	0.600	1.580	3.500	0.200	1.300	0.300	0.500
4.000	0.200	1.530	0.450	0.600	1.730	4.000	0.200	1.450	0.350	0.500
4.500	0.250	1.800	0.450	0.700	2.000	4.500	0.250	1.750	0.350	0.500
5.000	0.250	1.900	0.450	0.800	2.100	5.000	0.250	1.850	0.350	0.600
5.500	0.300	2.260	0.450	0.800	2.460	5.500	0.250	2.000	0.400	0.700
6.000	0.300	2.410	0.450	0.800	2.610	6.000	0.250	2.100	0.400	0.800
6.500	0.300	2.560	0.450	0.800	2.760	6.500	0.250	2.200	0.400	0.900
7.000	0.300	2.710	0.450	0.800	2.910	7.000	0.250	2.450	0.550	1.000
7.500	0.300	2.860	0.450	0.800	3.060	7.500	0.250	2.600	0.600	1.100
8.000	0.300	2.980	0.450	0.900	3.180	8.000	0.250	2.750	0.650	1.200

註) b-Rの場合は敷磔は設計しない。

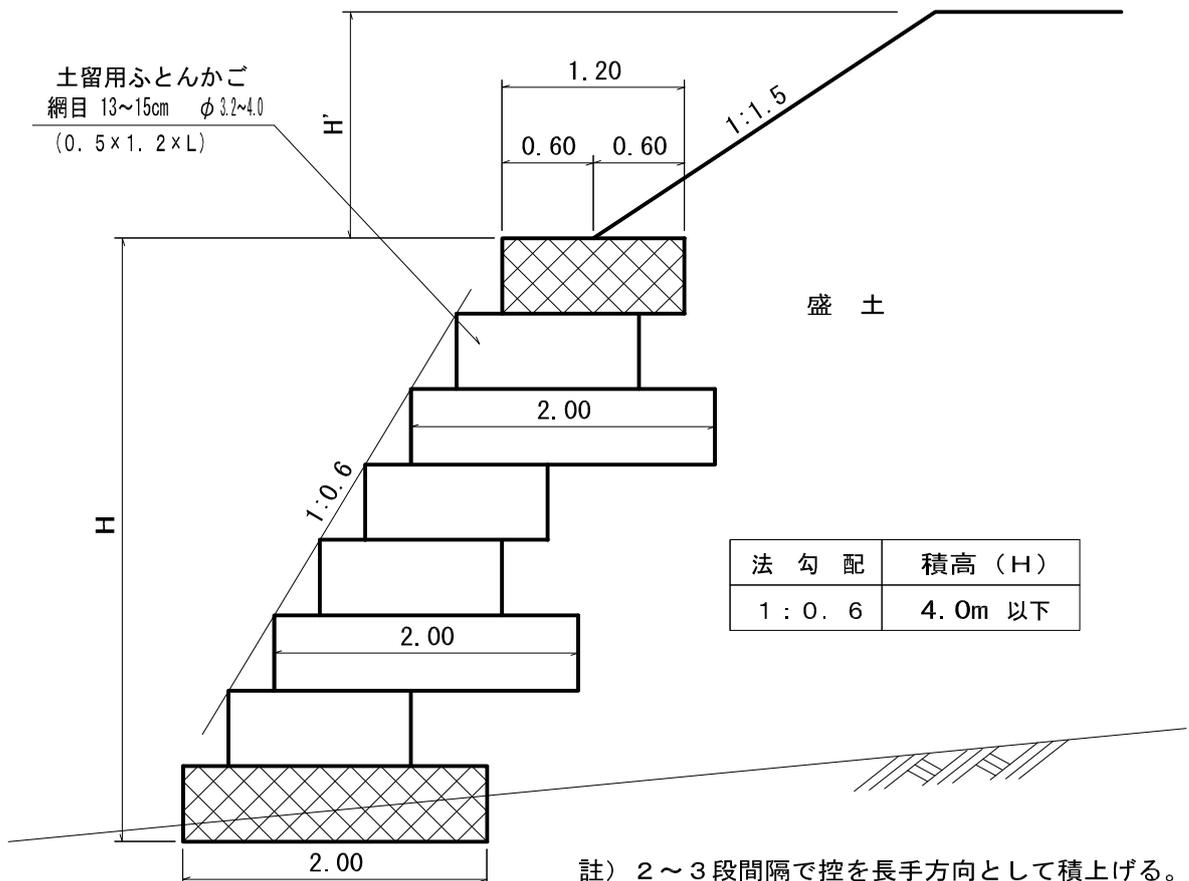
ふとんかご工

S=1:50

側面図



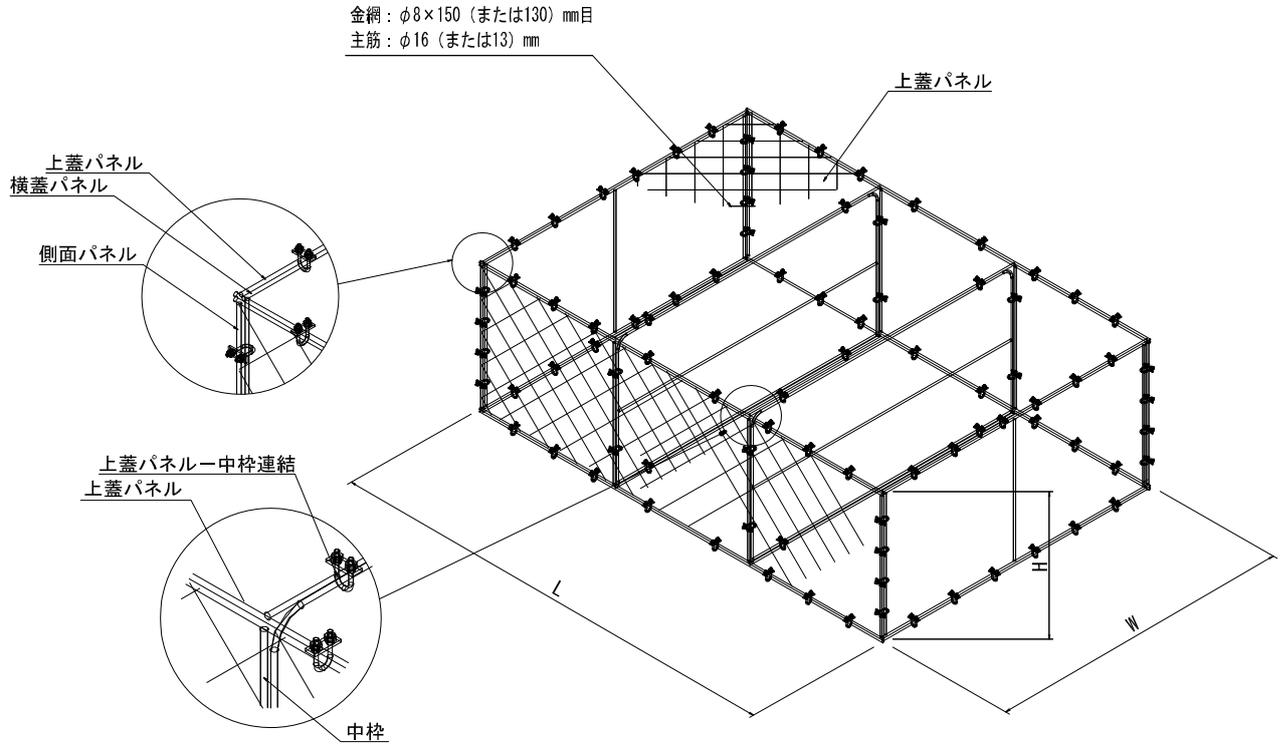
法 勾 配	盛土高 (H') 2.0m以下	盛土高 (H') 2.0mを超える場合
1 : 0.4	積高 (H) 2.0m 以下	積高 (H) 1.0m 以下
1 : 0.5	" 2.5m "	" 2.0m "
1 : 0.6	" 3.5m "	" 2.5m "



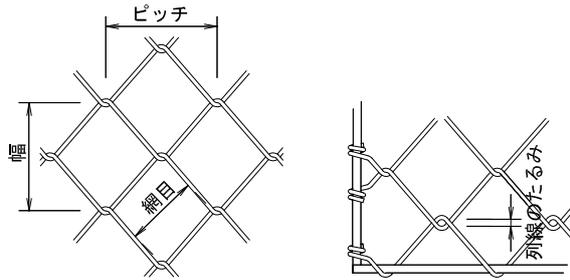
註) 2~3段間隔で控を長手方向として積上げる。

大型フトン籠

S=1:free



金網詳細仕様寸法図



標準仕様

部位	使用鋼材	規格	表面処理
金網部	亜鉛めっき鉄線 φ8mm	JIS G 3547 SWMGS-5	
枠部	一般構造用圧延鋼材 φ13・16mm	JIS G 3101 SS400 又は 同等以上	溶融亜鉛めっき JIS H 8641 HDZ55
連結金具	一般構造用圧延鋼材	JIS G 3101 SS400 又は 同等以上	溶融亜鉛めっき JIS H 8641 HDZ35

金網詳細仕様（単位：mm）

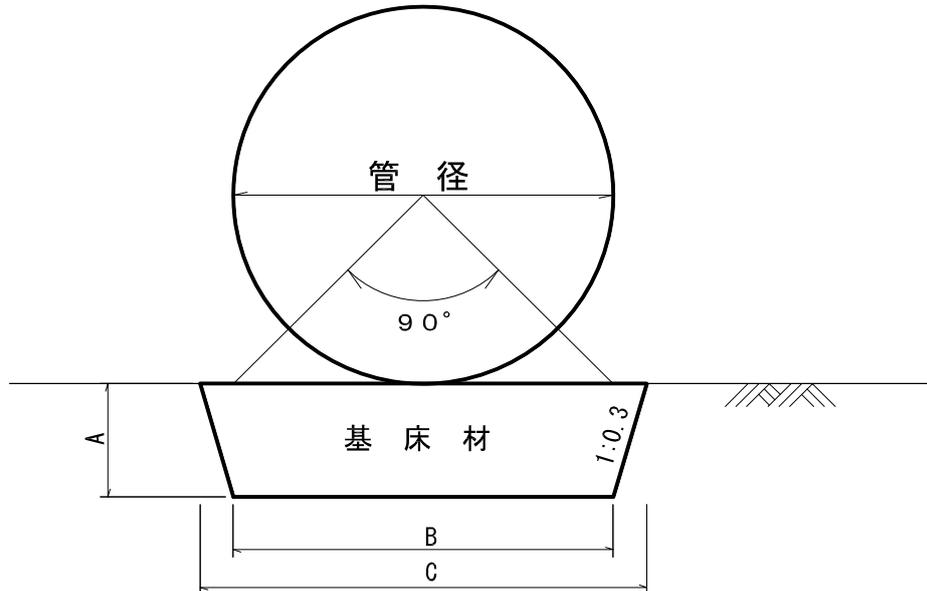
	線径	網目	ピッチ	幅	たるみ
150mm目	8±0.12	150±7	220±5	215±15	35以内
130mm目	8±0.12	130±6	180±10	195±15	35以内

※ 連結金具はM12を用いること。

管渠埋設標準図

S=1 : f r e e

(コルゲートパイプ)



突出型

管径 (mm)	寸法			基礎材 m ³ /10m	基礎施工面積 m ² /10m	基面整正 m ² /10m
	A	B	C			
I φ 600	0.20	0.60	0.72	1.3	7.2	6.0
I φ 800	0.20	0.80	0.92	1.7	9.2	8.0
I φ 1000	0.30	1.00	1.18	3.3	16.4	10.0
I φ 1200	0.30	1.20	1.38	3.9	19.3	12.0
I φ 1350	0.30	1.35	1.53	4.3	21.4	13.5
I φ 1500	0.30	1.50	1.68	4.8	23.6	15.0
I φ 1650	0.30	1.65	1.83	5.2	25.7	16.5
I φ 1800	0.30	1.80	1.98	5.7	27.9	18.0
II φ 1500	0.30	1.50	1.68	4.8	23.6	15.0
II φ 1750	0.30	1.75	1.93	5.5	27.2	17.5
II φ 2000	0.40	2.00	2.24	8.5	43.6	20.0
II φ 2500	0.50	2.50	2.80	13.3	65.8	25.0
II φ 3500	0.70	3.50	3.92	26.0	129.3	35.0
II φ 4000	0.80	4.00	4.48	33.9	172.0	40.0
II φ 4500	0.90	4.50	5.04	42.9	213.9	45.0

半溝型

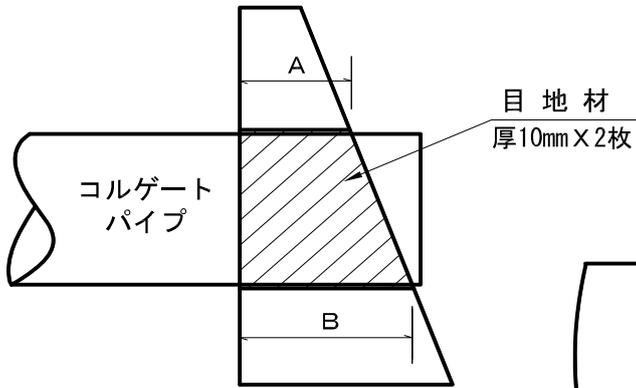
管径 (mm)	寸法			基礎材 m ³ /10m	基礎施工面積 m ² /10m	基面整正 m ² /10m
	A	B	C			
I φ 600	0.20	0.70	0.82	1.5	8.2	7.0
I φ 800	0.20	0.90	1.02	1.9	10.2	9.0
I φ 1000	0.30	1.10	1.28	3.6	17.9	11.0
I φ 1200	0.30	1.30	1.48	4.2	20.7	13.0
I φ 1350	0.30	1.45	1.63	4.6	22.9	14.5
I φ 1500	0.30	1.60	1.78	5.1	25.0	16.0
I φ 1650	0.30	1.75	1.93	5.5	27.2	17.5
I φ 1800	0.30	1.90	2.08	6.0	29.3	19.0
II φ 1500	0.30	1.60	1.78	5.1	25.0	16.0
II φ 1750	0.30	1.85	2.03	5.8	28.6	18.5
II φ 2000	0.40	2.10	2.34	8.9	45.6	21.0
II φ 2500	0.50	2.60	2.90	13.8	68.3	26.0
II φ 3500	0.70	3.60	4.02	26.7	132.7	36.0
II φ 4000	0.80	4.10	4.58	34.7	176.0	41.0
II φ 4500	0.90	4.60	5.14	43.8	218.3	46.0

この寸法は、普通地盤のものであり、岩及び軟弱地盤の場合は、別途計算による。

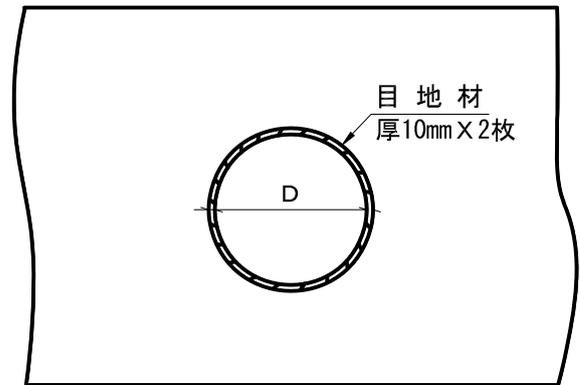
コルゲートパイプ施工標準図

構造物との縁切りの方法

断面図



正面図

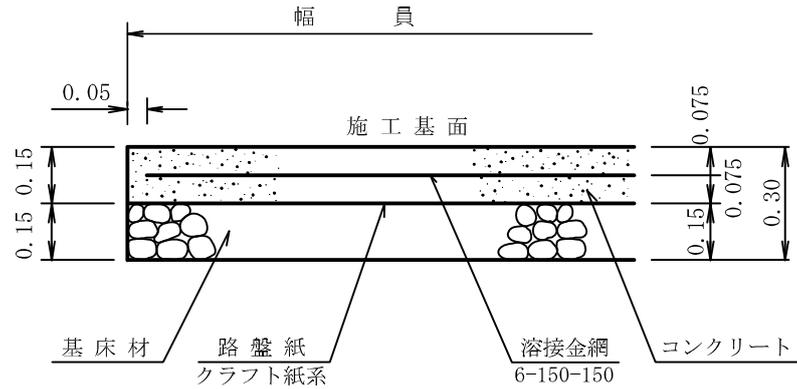


適用

コンクリート路面工標準図

S=1:free

側面図



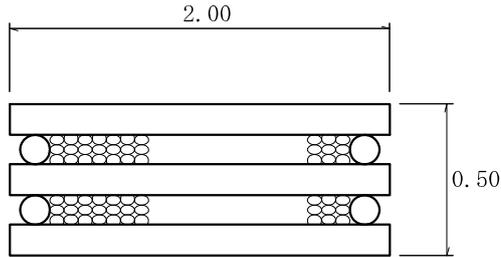
100m²当り

材 料 表		
名 称	数 量	品 質・規 格
コンクリート	15.00m ³	21-8-25(40)
路 盤 紙	100.00m ²	グラウト紙系
路 盤 工	15.00m ³	クラッシュラン RC-40
溶 接 金 網	100.00m ²	6*150*150
やむを得ず18-5-40を使用する場合は コンクリート厚0.20mとする。		

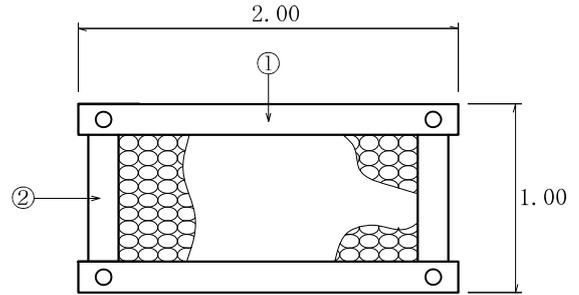
丸太水叩工(蓋無)

(単位:m)

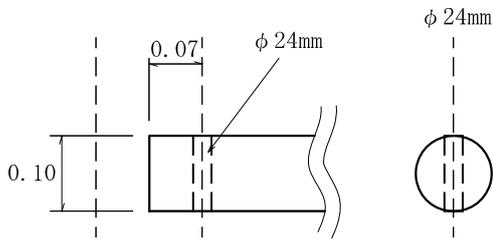
正面図



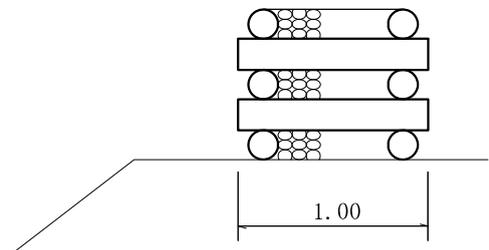
平面図



丸太詳細図



側面図



材料表

(1基当たり)

名称	形状・寸法	単位	数量	備考
丸太(横木)	末口径8~12cm 長さ2.0m	本	6	①
丸太(控木)	末口径8~12cm 長さ1.0m	本	4	②
ボルト	φ 16mm 長さ530mm 座金含む	本	4	
中詰材	石礫	m ³	0.72	詰石径5~50cm程度
世話役		人	0.03	
普通作業員		人	0.30	小運搬、組立等一切
諸雑費		%	2.00	

- 備考
1. 溝渠類の水叩に使用する。
 2. 施工箇所によっては、必要に応じ止杭を設ける。
 3. 諸雑費は、ドリル、モンキーレンチ等の損料であり労務費の合計額に上表の諸雑費率を乗じて得た金額を上限として計上する。